

第66回(令和3年度)埼玉県学校新聞コンクール応募用紙

学 校 名	
住 所	〒
連絡先	電話番号 FAX
所属組織	新聞連盟 指導研究会 高文連 (○をつけてください)
顧問氏名 部長氏名	顧問氏名 部長氏名
組 織	部活動(部活動名 )、委員会制(委員会名 )、 その他(組織名 )
応募紙	新聞名( ) 号～ 号  新聞名( ) 号～ 号  合計発行回数 回  名称の異なる新聞を発行している場合は別々に記入してください。 1年間に発行したすべての新聞を1部ずつ1枚の封筒に入れ、 それを1組とし、23組作ってください。 23組それぞれに応募用紙と作者のコメントを入れます。
今年度の 実働部員数	1年 名、2年 名、3年 名( 月引退) /計 名
今年度の組 織(部・委員 会等)予算額	生徒会 円、PTA・後援会補助 円 広告収入 円、購読料 円 その他 円、 合計 円
その他	全国高校新聞年間紙面審査賞への参加 有 ・ 無

制作者のコメント 高校名 ( )

**自己評価シート** 特に力を入れている項目にチェック (☑) してください。(■も可)

校内のさまざまなニュースを取り上げる 報道、特集、コラムすべて入れる

おもしろい特集記事を作る 取材やインタビューを積極的にする

内容のいいコラムを書く 題材が古くならないようにしている

社会的な視野を持つようにする 見出しの内容は具体的にする

読み易くおもしろいレイアウトを目指す いい写真を撮りトリミングも凝る

ケイ線・地紋・グラフ・表などを工夫 タイムリーな発行を目指す

限られた予算の中でいかに発行するか工夫している

その他 ( )

**アピールポイント** (審査の参考にします。空欄も可。)

企画	「この号のこの企画を見て欲しい」など→
速報性	「ここに注目して欲しい」など→
レイアウト	具体的な号やページがあれば→
写真	「具体的な号のこの写真」「写真を掲載するときに工夫や努力していること」など→
将来性	今後、どのような活動に発展させていきたいか→
論説	注目して欲しい論説の具体的な号と掲載面を1つ記入。そのアピールポイントもあれば記入。→

**コメント** (どんな状況の中で、どう活動し、どんな新聞を作ろうとしているのかなど書いてください。上のアピールポイントと重複しても可。各校の置かれている状況を理解するため、コロナ禍による部活動への影響がある場合は記入してください。)

この「応募用紙・作者のコメント」はA3見開きで作成してください。